

ステップだより

拠点校：日野市立南平小学校

巡回校：日野市立豊田小学校

令和5年10月号



いろいろな気持ちを大切に



9月に入っても猛暑が続きましたが、さわやかな秋の風が心地よく感じられるようになってきました。長い夏休みから学校が始まり、「授業の時間が長くて疲れる。」「運動会の練習をするのが大変。」などと本音を話しつつも、「徒競走速く走れるように頑張りたい。」「勉強を頑張りたい。」「得意な図工をもっと頑張りたい。」と、キラキラとしたやる気を持っている子供たちの姿がありました。2学期は、多くの行事がありますが、楽しい気持ちや頑張りたい気持ちがある中でも、イライラしたり、不安になったりして、マイナスな気持ちをもつこともあります。そして、いろいろな気持ちに蓋をしてしまうこともあると思います。子供たちが自分の気持ちと向き合っ、学校で力を発揮できるように、まずは、一つ一つの気持ちを受け止め、自分なりの乗り越え方や子供たちが活躍できる場面と一緒に見つけていきたいです。

☆10月の学習予定☆ 児童の実態に合わせて活動を選んで学習します。

- ・ こんなどきどうする？
- ・ 気持ちの切り替え方
- ・ 漁師ゲーム
- ・ ステップ劇場
- ・ 折り染め
- ・ ポッチャ
- ・ フリンをねらえ
- ・ 協力UF0キャッチャー
- ・ 風船バレー
- など

～お知らせ～

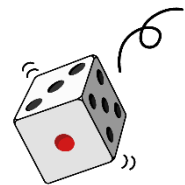
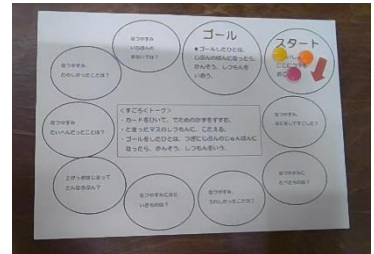
12月に、ステップ教室利用児童の保護者学習会を行います。
明星大学准教授の森下 由規子先生をお招きし、ご講演いただきます。
講演内容・場所は、後日ご連絡いたします。
【南平小・豊田小の保護者の方】

12月22日（火）10：00～12：00

【9月はこんなことをしました】

〈夏休みすごろくトーク〉

2学期最初のフレンドタイムでは、夏休みの出来事について話しました。さいころを振って、止まったマスのお題に沿って話します。相手が話しているときに話をしてしまう子は「話を最後まで静かに聞く。」何を話していいかわからず困ってしまう子は「困ったときに、先生に相談する。」など、一人一人に応じためあてを立てて、活動しました。子供たちは、自分は何を頑張ればいいかが具体的に分かったと、めあてを意識して活動する様子が見られました。夏休みあったことについて話す姿はとても生き生きしていました。自分の話に質問してもらえることは、興味をもってもらえて嬉しく感じることに気が付くと、友達の話に集中して聞き、質問をすることができる様子が見られました。



〈ステップ劇場〉

教員による学校生活に近い場面の劇を見て、登場人物の気持ちやどうすればよいかを考える活動を行っています。教員が劇を行うことで、グループの実態に応じた SST ができるようにしています。また、劇は子供にとってわかりやすく、「自分だったらどうするか」「友達と関わるときに気を付けることはなにか」など活発に意見を交換する姿が見られます。あるグループでは、勝ち負けのあるゲームでうまくいかないときに言葉や表情に出して落ち込む様子を劇で見せました。子供たちは劇を見て、「ずっとうまくいなくて、「またかよー！」と言っていた。表情もわるかった。」「周りの人は、困っている。楽しくない。」などと、登場人物の気持ちをよく考えて発表する姿が見られました。また、どうすればよいかを考えると、「ま、いっかする。」「次のときは勝てるかもと、気持ちをポジティブにする。」などと、たくさんの考えを交換していました。ステップ劇場の後は、実際に勝ち負けのあるゲーム「インカの黄金」に取り組みました。うまくいかなかったときには悔しい顔をしながらも、「ま、いっか〜！」と切り替えて頑張る姿が見られました。

